



Monthly YSFH News (Electronic version)

発行：横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644
HP:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/>

陽春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。開校5年目を迎え、あらためて本校をご支援いただいている方々への感謝を強く思うところです。科学技術顧問の皆様方に熱心な講義や生徒への指導をいただいたこと、また、学校ファンドなどへの多くの方のご厚志により充実した国際交流事業等の活動が実施できたことに、心より厚く御礼申し上げます。おかげさまで、生徒たちは自分の思いを持って本校で学び、卒業生は次のステージに向かって活躍を始めています。今回、ついに国公立大学の合格が100名となるなど、進路の実績でも本校の名前が取り上げられるようになりました。

4月8日には新1年次生となる第5期生が入学してまいりました。入学式では、科学技術顧問の皆様、地域の皆様、多くの保護者の皆様の前で、期待と希望を抱いた238名の「知の開拓者たち」が集いました。校長式辞を姿勢正しく聴き入っている姿からは、本校で学ぶ決意の大きさが感じられます。平成25年度が始まりましたが、本校の教育活動を引き続きお引き立てを賜りますよう心からお願い申し上げます。

【第5回HOPEミーティング】 (2月28日)



「第5回HOPEミーティング」へ本校生徒4名が参加させていただきました。「HOPEミーティング」とは、「アジア・太平洋地域等から選抜された優秀な大学院生等を対象として、ノーベル賞受賞者などの世界の知のフロンティアを開拓した人々との対話、同世代の研究者との交流、さらには人文社会分野の講演や芸術プログラムを通じて、科学者としてより広い教養の涵養と人間性の陶冶を図り、彼らが将来のアジア・太平洋地域等の科学研究を担う研究者として飛躍する機会を提供する」という主旨で行われているものです。

世界で活躍する科学者の皆様や各国高校生と直接話をさせていただく機会もあり、素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。

【第2回卒業証書授与式】 (3月2日)

【第2回卒業証書授与式】を行い、多くのご来賓の皆様にお越しいただきました。栗原校長より「常に一つ上を目指しなさい。それは決して地位や名誉、金力や権力を得るためではなく、広く世界に目をやり、人のための人として活躍するためです」との式辞があり、また和田 昭允常任スーパーアドバイザーより、「この先、君たちより多くの知識を持つ人に出会うだろう。しかし、君たちには【ものの考え方】がしっかり身についている。自信を持って進んでいってほしい」をいうお言葉をいただきました。

横浜サイエンスフロンティア高等学校第2期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！



【平成24年度横浜市教育委員会表彰式】 (3月3日)



【平成24年度横浜市教育委員会表彰式】が本校ホールにて行われました。「児童生徒の部：文化・芸術・科学・技術部門」において3年次生の中里 徳彦さん（個人）、そして自然科学部（団体）が表彰され、さらに「横浜市優秀教員」において昨年度の溝上 豊教諭に引き続き、神山 めぐみ教諭が表彰されました。また、横浜サイエンスフロンティア高等学校が【スーパーサイエンスハイスクール・コアスーパーサイエンスハイスクールとしての取組を核とした教育と成果】をもって、高校としては初めて「優秀教育実践校」として表彰されました。

【サタデーサイエンス：横浜市立大学医学部訪問】 (3月9日)

サタデーサイエンス「横浜市立大学医学部訪問」についてご紹介します。今回のサタデーサイエンスは希望者のみを対象とし、1年次生25名が参加しました。当日は医学部福浦キャンパスにて「横浜市立大学医学部の説明」、「個別相談」をしていただいた後、「内視鏡体験」、「縫合体験」などをさせていただきました。医師を志望、あるいは関心を持つ生徒たちにとって素晴らしい経験となりました。



【たたら製鉄体験】（3月9日、10日）



3月9日（土）、10日（日）に「たたら製鉄体験」を行いました。
「特定非営利活動法人 ものづくり教育たたら」の永田 和宏様、斎藤 学様にご来校いただき、たたら製鉄のご指導をいただきました。9日は「炉組み」、「火入れ」、「操業（木炭と砂鉄を交互にたたらに入れ、送風する）」、「冷却」、「ケラ出し（できあがった鉄を取り出す）」というたたら製鉄の過程を全て行い、10日は「炉の解体」、そして「講義」をしていただきました。

【日本フィボナッチ協会第11回研究集会】（3月10日）

東京海洋大学にて行われた【日本フィボナッチ協会第11回研究集会】にて、本校2年次生増田 卓斗君が研究発表をさせていただきました。昨年の夏に行われた大阪府立大手前高等学校主催の「第4回マス・フェスタ（全国数学生徒研究発表会）」で本校生徒の発表が海城高等学校の数学科川崎先生の目に止まり、興味を持っていただいたことがきっかけです。海城高等学校との累計3回の交流会を含め、発表の機会を数々いただいています。研究者の皆様の前での発表であり、YSFHの職員・生徒ともども感無量でした。



【サタデーサイエンス：宇宙エレベーター建設構想】（3月16日）



サタデーサイエンス「宇宙エレベーター建設構想」についてご紹介します。
株式会社大林組の石川 洋二様（エンジニアリング本部環境技術第二部主席技師）に講義をしていただきました。宇宙エレベーターの「原理」、「建設スケジュール」、「イニシャルコスト」、「ランニングコスト」などを具体的にご説明いただき、夢のような計画が【実現可能な目標】であると認識出来ました。生徒からは「宇宙エレベーター運営組織は国際機関になるのか、少数の国の連合になるのか？」など10を超える質問が出て、また「将来は宇宙エレベーターの管制係になりたい」という第2期生の生徒も参加するなど、非常に盛り上がったサタデーサイエンスとなりました。

【第8回関東近県SSH合同発表会】（3月17日）

早稲田大学理工学術院にて行われた【第8回関東近県SSH合同発表会】に本校生徒17名（口頭発表1名、ポスター発表16名）が参加しました。口頭発表では【納豆の「うまみ」の変化】について、ポスター発表では【地盤の違いによる計測震度の差】や【身近な廃棄物の資源化】、【手の動きでPCを操作するUIの開発】などを発表し、多くの質問をいただくことが出来ました。今回の経験を生かし、研究のさらなる深化に期待します。



【サタデーサイエンス：次世代の君たちへ】（3月23日）



サタデーサイエンス「次世代の君たちへ」についてご紹介します。
本校スーパーアドバイザー浅島 誠先生（東京大学名誉教授）に講義をしていただきました。講義では「アクチビンとレチノイン酸を用いたマウスES細胞からの膀胱の誘導」などをご説明いただき、さらに「謙虚になって生物の美しさから学ぶことが必要」とご助言もいただきました。
また、今回の講義をもって、平成24年度のサタデーサイエンスは全日程を終了しました。多くの研究機関・大学・企業の方々にご来校いただいたこと、心から御礼申し上げます。

●3月、4月の予定●

4月8日：第5期生入学式

4月12日：第1回和田サロン

4月23日-24日：1年次宿泊研修

5月1日：生徒会選挙

5月7日：開校記念日

5月21日-24日：中間テスト